

青梅市新庁舎案内



青梅市

さらなる市民サービス向上を目指す



市長
ごあいさつ

市制施行60周年を迎えたこの記念すべき年に、長年の念願でありました新庁舎建設事業が完成を迎えました。これもひとえに市民の皆様を始め、市議会、庁舎建設特別委員会、その他関係各位の温かいご理解とご支援の賜物と深く感謝を申し上げます。

この新庁舎は、訪れるすべての方が利用しやすい庁舎を基本として、ユニバーサルデザインやバリアフリー化を推進しており、高齢者をはじめ障がいをお持ちの方、妊婦さんやお子さんをお連れの方にも安心してご利用いただけます。

また、より一層の市民サービス向上を第一として、ワンストップ行政サービスを目指し、1階に窓口を集約し、窓口機能の充実、利便性の向上を図っております。

建物は、免震構造を採用し、地震等災害時に備え、市民の皆様の安全を確保するため、防災拠点としての機能を持たせました。また、太陽光、地中熱、風力などの自然エネルギーを活用するとともに、雨水の再利用や屋上および駐車場の緑化など、環境に配慮した庁舎となっております。

この新庁舎の完成を契機として、全職員が一丸となり、より効率的な行政運営を図るとともに、皆様に末永く親しまれ、便利にご利用いただける庁舎となるよう、これまでも増してきめ細かな市民サービスに努めてまいります。

今後とも、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成23年4月

青梅市市長 **竹内 俊夫**



市議会議長
ごあいさつ

このたび、長年の懸案でありました新庁舎建設事業の全てがめでたく落成いたしましたことを市議会を代表し、心よりお慶び申し上げます。

昭和36年に建設された旧庁舎は、老朽化の進行に加えて、人口の増加や行政需要の増大に対応するための組織の拡充や、それに伴う職員増などにより、著しい狭あい化や事務室の分散化が進んでおりました。また、耐震基準に適合していないことや高齢者や身体に障がいを持つ市民の皆様が利用していただくエレベーター等の設備がない等、市民の皆様には非常なご不便をおかけしておりました。

今回、落成いたしました新庁舎は、市民の皆様が利用しやすいように配慮するとともに、免震装置を設置して大地震にも耐えられる機能を有し、自然換気や太陽光パネル、雨水等を活用して省エネルギーに工夫を凝らすなど、緑豊かな青梅市にふさわしい安全でエコな庁舎として生まれ変わりました。

今後は、行政サービスの拠点だけでなく、市民の交流の場や生涯学習の場として市民の皆様が親しまれる庁舎となるものと確信いたしております。

私ども市議会といたしましても、改めてその責任の重大さを認識し、市民の皆様への負託にお応えする所存でございます。

結びに、新庁舎建設のために特段の御理解と御協力をいただきました市民の皆様をはじめ、関係各位の多大なる御労苦に対しまして心から感謝を申しあげまして、御挨拶いたします。

平成23年4月

青梅市議会議長 **青木 雅孔**

建設経過概要

- ❖昭和60年 公共施設整備基金積立開始。
- ❖平成5年1月 「新庁舎建設基本構想」まとまる。
- ❖平成6年3月 基本設計完了。
- ❖平成7年3月 財政状況により建設スケジュールを変更、凍結。
- ❖平成12年12月 総合3か年計画で「新庁舎建設を目指す。」とした。
- ❖平成14年10月 「新庁舎建設について市民の皆さんからご意見を聴く会」開催。
- ❖平成15年3月 庁舎建設検討特別委員会から、「平成6年の基本設計を白紙に戻し、新庁舎建設をすべきである。」等の報告を受ける。
- ❖平成15年4月 第5次青梅市総合長期計画で「市民にとって利便性の高い新庁舎を建設する。」とした。
- ❖平成17年11月 新たな「新庁舎建設基本構想」等まとまる。
- ❖平成18年3月 新庁舎建設設計提案競技選考委員会において設計案の決定。
- ❖平成18年3月 基本設計委託契約締結。
- ❖平成18年12月 基本設計完了。
- ❖平成19年2月 実施設計委託契約締結。
- ❖平成20年1月 実施設計完了。
- ❖平成20年3月 新庁舎建設4工事（建築・電気設備・給排水衛生設備・空調設備）の請負契約締結。
- ❖平成20年6月 昇降機設備工事請負契約締結。
- ❖平成22年5月 建設工事竣工。
- ❖平成22年7月 開所。
- ❖平成23年4月 外構等工事竣工、新庁舎建設事業落成式典開催。



▲旧庁舎



▲現場市民見学会



▲鉄骨立て方工事



▲開所式

▶ 新庁舎（行政棟）



▲ 1階窓口



▲ 1階ロビー

1階フロアは、窓口ゾーンとして大空間に自然光を取り入れ、明るく開放的な憩いのスペースを設けています。



▲ 1階キッズコーナー



▲ 災害対策本部室（2階）



▲ 喫茶コーナー（2階）



▲ 庁議室（4階）



▲ 執務室（5階）



▲ 食堂（7階）



▲ 多目的トイレ

▶新庁舎（議会棟）



▲ 議場（議会棟4階）



▲ 議場（議会棟4階）

議場は、室内の高い位置から自然光を取り入れ、明るい空間としました。傍聴席を低い位置に設けて議場との一体感をだし、子ども連れの方にも傍聴いただけるように親子席を用意しました。



▲ 委員会室（議会棟3階）



▲ 大会議室（議会棟3階）

▶旧庁舎



各階案内図

行政棟

7 F	食堂			
6 F	選挙管理委員会・公平委員会 監査事務局・下水工務課・下水業務課・水道課			
5 F	防災課・公園緑地課・まちづくり推進課・都市計画課・住宅課・契約管財課(土地開発公社)・検査担当・計画調整担当・管理課・土木課・建築営繕課		議会棟	
4 F	秘書広報課・企画調整課・行政管理課・企画部主幹・西多摩地域広域行政圏協議会財政課・職員課・庶務課・市長室・副市長室	連絡通路	議場	4 F
3 F	生活安全課・市民活動推進課・環境政策課・ごみ対策課・商工観光課 農林課 農業委員会・総務課・施設課・指導室・教育指導担当・社会教育課 子ども家庭支援課・教育長室・教育委員会会議室・消費者相談室	連絡通路	大会議室 委員会室 議会会議室	3 F
2 F	行政情報コーナー・姉妹都市コーナー・喫茶コーナー・201~206会議室 災害対策本部室	連絡通路	正・副議長室 議員控室 議会事務局	2 F
1 F	市民課・保険年金課・高齢介護課・障がい者福祉課・子育て推進課・会計課 収納課・市民税課・資産税課・福祉総務課			1 F
B1F	駐車場			B1F

建物の特徴

免震構造

地下駐車場と1階の間に6種類107個の免震装置を設置し、震度6強の大地震に対して無被害、震度7以上の巨大地震に対して軽微な被害にとどめます。



▲ 免振装置

自然換気システム (ナイトパージ)

夜間の冷えた空気で行舎内を換気することによって、夏季の冷房負荷の縮減を図ります。中間期は、自然換気で空調に頼らない快適な執務空間を作ります。



▲ 地中熱採熱管

地中熱利用

地中に埋設した採熱パイプに雨水を通し、地中温度を利用して、夏季の冷房および冬季の暖房運転に利用します。

雨水利用

建物への降雨水を地下の専用水槽に集水し、トイレ洗浄水、地中熱利用水に利用します。



▲ 太陽光パネル

太陽光発電

議会棟屋上に太陽光パネル(太陽電池容量30kW)を配置し、電力消費の一部を担います。

太陽熱利用

屋上に太陽熱集熱パネル(真空管型ソーラーコレクタ)を設置し、厨房用給湯の予熱熱源として利用します。

明るさセンサー導入

各執務室の照明に明るさセンサーを配置し、初期照度補正制御および昼光利用制御を行います。

屋上緑化

空調負荷の抑制とヒートアイランド化の抑制に寄与します。



▲ 屋上緑化



▲ 市民の広場



▲ ぶどう棚



▲ 緑化駐車場



▲ 平和の像



▲ 御影石の遊歩道



▲ 2階テラス



▲ 風力発電の時計

施設の概要

- 位置 東京都青梅市東青梅1丁目11番地の1
- 敷地面積 16,046.18㎡
- 規模 建築面積:4,957.26㎡
延べ面積:22,097.76㎡
- 構造 地下1階:鉄筋コンクリート造
地上7階(行政棟)および4階建(議会棟):鉄骨鉄筋コンクリート(一部鉄骨)造、免震構造
- 工期 平成20年3月から平成23年4月まで

○事業費の内訳(平成23年4月末現在)

本体工事費	73億4,932万円
その他工事費	5億9,196万円
設計・監理費	3億3,019万円
委託料	2億2,426万円
備品購入費	2億0,863万円
事務費等	1億8,837万円
合計	88億9,273万円

○財源の内訳

基金	50億0,671万円
起債	38億5,870万円
補助金等	2,732万円
合計	88億9,273万円

○施工業者

設計・監理 株式会社 佐藤総合計画
施工

建築:フジタ・青木あすなろ・早野組特定建設工事共同企業体
電気設備:栗原・三和特定建設工事共同企業体
空調設備:ダイダン・青和特定建設工事共同企業体
給排水衛生設備:ヤマト・竹村特定建設工事共同企業体
昇降機設備:東芝エレベータ株式会社西東京支店

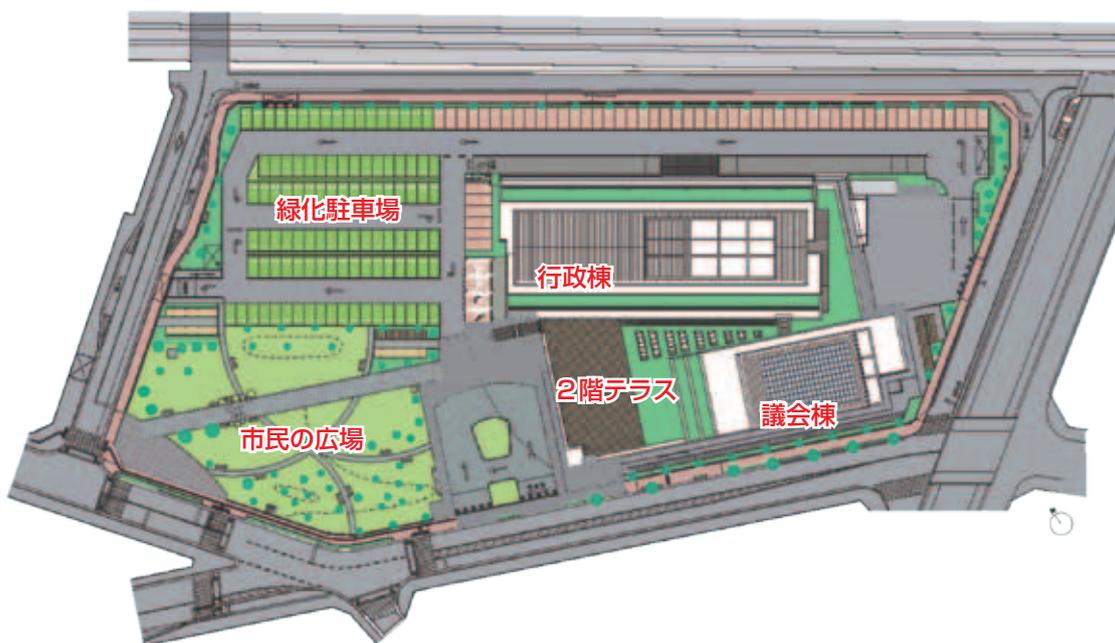
○設備概要

地上駐車場	162台
地下駐車場	53台
駐輪場(市民用)	95台
駐輪場(職員用)	170台
昇降機15人乗り4台 22人乗り1台	
自家発電設備	
キュービクル型ガスタービン	
875KVA 軽油	
太陽光発電設備 30KW	

案内図



配置図



〒198-8701 青梅市東青梅1丁目11番地の1
電話番号0428-22-1111
<http://www.city.ome.tokyo.jp/>
発行日 平成23年4月